

令和7年 4月～6月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合計
24	31	28	37	120

調査結果の概要

<全体 ～仕入DIは高水準の悪化が続く、採算性も悪化の状況が続く～>

令和7年第一四半期(前回調査)と同様に、仕入DIが一層大きく悪化しています。
今後の見通し(令和7年7～9月)は、引き続き仕入DIと採算の悪化が見込まれています。

<製造業 ～売上・資金繰りDIはプラス水準、採算DIは悪化～>

売上DIは8.3(前回0.0)、採算DIは▲20.8(前回は12.5)、資金繰りDIは8.3(前回8.3)となりました。
今後の見通し(令和7年7～9月)は売上DIは維持、採算DIは悪化緩和、資金繰りDIは維持の見込みにあります。

<建設業 ～売上DIはプラス水準であるものの採算・資金繰りDIは厳しい状況～>

売上DIは3.2(前回6.5)、採算DIは▲22.6(前回▲16.1)、資金繰りDIは▲6.5(前回0.0)となりました。
今後の見通し(令和7年7～9月)は売上DIは維持、採算DIは悪化緩和、資金繰りDIは維持の見込みにあります。

<卸・小売業 ～売上DIはプラス水準であるものの採算・資金繰りDIは厳しい状況～>

売上DIは17.9(前回0.0)、採算DIは▲25.0(前回▲39.3)、資金繰りDIは▲21.4(前回▲21.4)となりました。
今後の見通し(令和7年7～9月)は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化の見込みにあります。

<サービス業 ～売上DIは好転するものの、採算DI、資金繰りDIは前回より悪化～>

売上DIは24.3(前回16.2)、採算DIは▲10.8(前回▲2.7)、資金繰りDIは▲21.6(前回▲13.5)となりました。
今後の見通し(令和7年7～9月)は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化維持の見込みにあります。

<業種別業況>

卸・小売業で仕入単価DIがマイナス70ポイント超水準であり、今後の見通しも厳しい状況。

<時系列比較>

売上DIは全業種で前回調査に続きプラス水準が続く。
採算DIは全業種でマイナス水準。全業種マイナスは令和6年7～9月調査以来。
資金繰りDIは時に卸・小売業、サービス業で厳しい状況が続く。

<業況変化の要因>

販売・受注の増加や民間需要の活性化により業績が好転しています。
仕入価格の上昇(商品、原材料等)が1位回答の最多となっています。
引き続き仕入れ価格の上昇と経費の増加が業績の悪化に影響を与えています。

～業種別比較表～

○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年4月～6月	天気図					
	D I	8.3	-54.2	-20.8	20.8	8.3
来季（見通し）比較 令和7年7月～9月	天気図					
	D I	8.3	-33.3	-4.2	16.7	8.3

○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年4月～6月	天気図					
	D I	3.2	-58.1	-22.6	25.8	-6.5
来季（見通し）比較 令和7年7月～9月	天気図					
	D I	0.0	-38.7	-12.9	29.0	-3.2

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年4月～6月	天気図					
	D I	17.9	-71.4	-25.0	21.4	-21.4
来季（見通し）比較 令和7年7月～9月	天気図					
	D I	-14.3	-50.0	-28.6	14.3	-28.6

○サービス業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年4月～6月	天気図					
	D I	24.3	-40.5	-10.8	13.5	-21.6
来季（見通し）比較 令和7年7月～9月	天気図					
	D I	16.2	-24.3	2.7	8.1	-10.8

～天気図の指標～

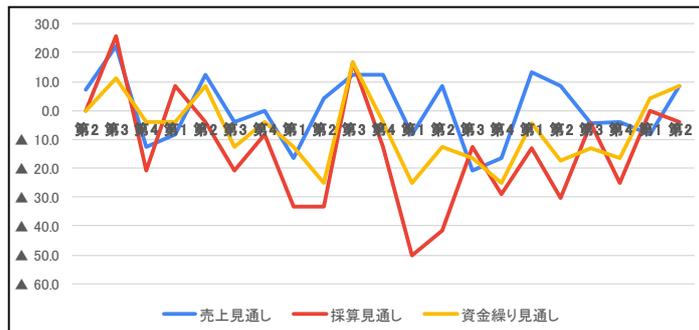
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



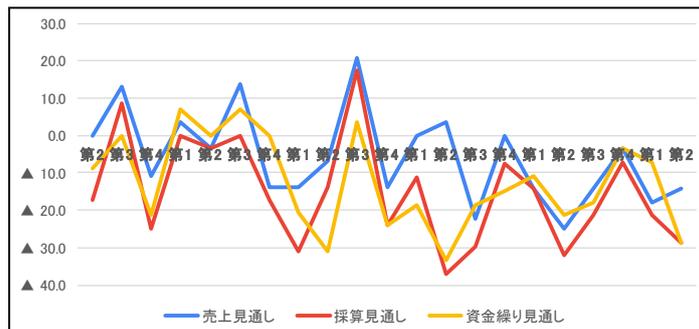
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



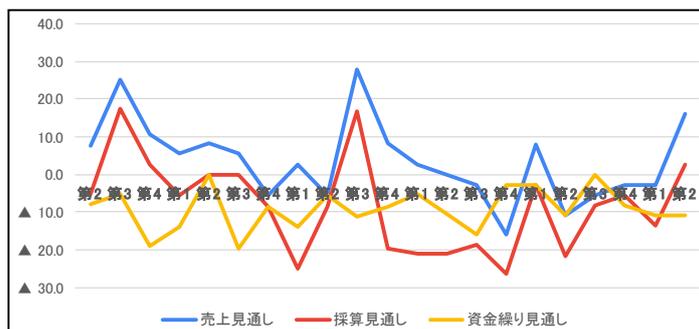
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

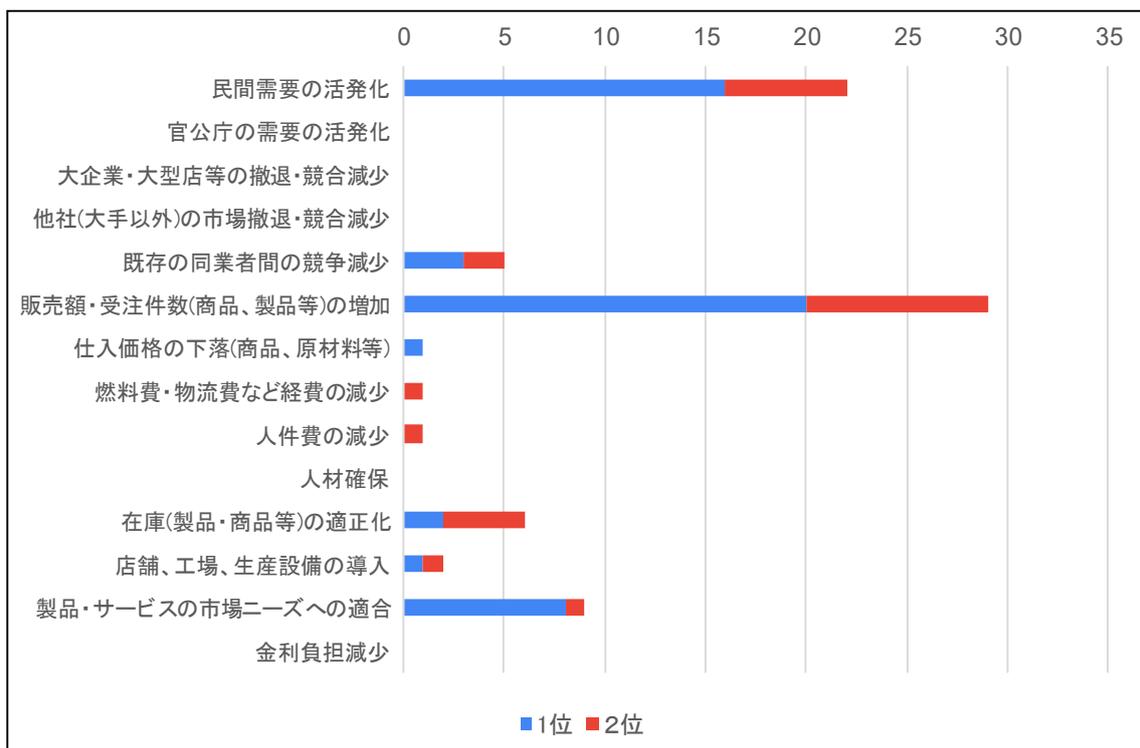


— 売上見通し — 採算見通し — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

販売・受注の増加や民間需要の活性化により業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

仕入価格の上昇(商品、原材料等)が1位回答の最多となっています。

引き続き経費の増加と仕入れ価格の上昇が業績の悪化に影響を与えています。

